

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育内容総論				
担当者氏名	荘司 泰弘				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

こども園での実習を前提にこどもの発達を眺める5つの窓口、「環境」、「人間関係」、「言葉」、「表現」、「健康」の基礎知識を概説する。こども達の文化を中心に考える習慣と活動を援助する発想の転換を試みる。

《テキスト》

ポータルサイトのオンライン講義の資料を対面形式で使用する。

《参考図書》

幼保連携型認定こども園教育・保育要領

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00010420&dataType=0&pageNo=1

《授業の到達目標》

こども園での実習を前提にこどもの発達を眺める5つの窓口、「環境」、「人間関係」、「言葉」、「表現」、「健康」の基礎知識を概説する。こども達の文化を中心に考える習慣と活動を援助する発想の転換を試みる。

《授業時間外学習》

こどもを取り巻く保育文化教材に幅広くかかわりを持ってください。

《成績評価の方法》

平常点 60%

プレゼンテーション 40%

《備考（教員経験の有無）》

実技課題を提示して、学習成果を発表します。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業内容を概説し、評価や授業の方法を説明する。
2	環境による援助と指導	総論として、こどもの活動を支える発想として「援助」の概念を説明する。実技は「けん玉」です。
3	領域と教科の違い	総論として、乳幼児の活動を総合的に理解する発想として「領域」の概念を説明する。実技は「コマまわし」です。
4	異年齢同集団の意義	環境の視点で、同年齢同集団の横割りクラス活動が乳幼児に適さないことを指摘する。実技は「おてだま」です。
5	保育者と遊ぶ大人	環境の視点で、大人や教師の援助限界を指摘し、「遊ぶ大人」の概念を説明する。実技は「折り紙」です。
6	試行錯誤の感覚体験	人間関係の視点で、試行錯誤することが柔軟な発想につながることを説明する。実技は「あやとり」です。
7	一致・受容・共感	人間関係の視点で、あるがままの生き様を提示する保育教諭が大切なことを説明する。実技は「エプロンシアター」です。
8	総合的直観感覚	表現の視点で、6番目の感覚「直観」を説明し、感性に働きかける保育を説明する。実技は「泥ダンゴ」です。
9	感情移入と創造性	表現の視点で、感情移入傾向と創造性を結びつける「創造的活動衝動」を説明する。実技は「織り紙」です。
10	発達特性と障がい	健康の視点で、競争原理に基づく連続発達観の弊害と最近接領域の発想を説明する。実技は「手遊び」です。
11	カウンセリングマインド	健康の視点で、保育教諭がカウンセラー要素を持つ療育や支援の概念を説明する。実技は「活動あそび」です。
12	原体験と言葉	言葉の視点として、話したい衝動や伝えたい気持ちをに働きかける原体験を説明する。実技は「影絵あそび」です。
13	言葉によらない意思疎通	言葉の視点として、ベビーサインやボディランゲージなどの非言語対話を説明する。実技は「絵本読み語り」です。
14	危機管理	保育現場で想定される危機状態とこどもを守る保育教諭の対応の事例を紹介する。実技は「絵描き歌」です。
15	まとめ	こどもの視点での保育について総括する。